

NO	ご意見	回答
1	<p>①表紙タイトル第4次魚津・・・計画をサブタイトルへ、心踊る・・・つなぐまちをスローガン等へ格下げし若者向けするメインタイトルを新たに考える。</p> <p>②序論内文言の整理、表紙から基本計画までのページ数が多すぎるのでは。計画書末尾へ備考・参考資料として移動できる文言 グラフは移動、類似した文言は削除し表紙から24pまでを簡素化。</p> <p>③電子ご意見箱『市長へ手紙』への投稿をしやすくするための堅苦しい名称変更。</p> <p>④投票年齢が18歳までに引き下げられました。年配者でなくこれからの魚津を支える若い世代に一読してもらいたい内容で、学校の授業の副教材として利用価値がある内容です。春には市長が交代し政策ががらりと変わるかもしれませんが、まだまだ魚津には地域活性化の素材が沢山存在していると思っています。特に20代30代の若手職員は、斬新な発想を遺憾無く発揮し頑張ってください。末端の市民ですが応援してます。</p>	<p>①将来都市像や基本理念につきましては、平成23年の基本構想策定時に平成32年度を目標年次として定めたものであり、今回策定の後期基本計画は、その基本構想に基づいた内容となりますので、スローガン等への変更はできませんが、今後、まちづくりを推進していくにあたり、若者にも関心を持っていただけるようなキャッチフレーズ等については、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>②序論部分については、後期の基本計画ということで、当初、現在の内容よりも少なくする案もありましたが、平成23年策定時の内容について5年が経過し、社会情勢の変化を踏まえ、内容は掲載項目は同様のものとし内容を現在の状況を反映させたものいたしました。</p> <p>③「市長への手紙」という名称への印象は人それぞれかと思われませんが、現在、市ホームページのリニューアルに向け作業を進めていますので、それに合わせて名称変更を検討したいと思います。</p> <p>④この総合計画を若い世代に読んでいただくことにより、ふるさと魚津への関心が深まり、まちづくりへの参加につながっていくことを期待しております。冊子が完成しましたら、各公共施設や図書館、市内の小中学校及び高等学校などに配布いたします。また、ダイジェスト版を作成し、全世帯配布を予定しております。ホームページでは、計画についての紹介ページを作成いたします。多くの方にご覧いただき、魚津のまちづくりについて関心を持っていただければと思います。</p>